

令和2年度社会福祉法人長洲町社会福祉協議会事業報告

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

I 総務課

住み慣れた地域で、誰もが安心して暮らせるための支援とし、地域福祉活動では地域住民が相互に支え合える地域づくりのため、ふれあい地区社協活動を中心とした見守り活動や公民館活動への支援を、新型コロナウイルス感染症予防を図りながら実施しました。

また、様々な問題が複合して起こる生活上の問題に対応するため、関係機関と連携を図り引きこもりや社会的孤立の問題、権利擁護、生活困窮世帯、新型コロナウイルス感染症の影響などで日常生活に不安を抱えている方などへ、寄り添いながら支援を行いました。

1 理事会、評議員会の開催

(1) 理事会

回数	日時	提出議案
第1回	5月29日(金) 新型コロナウイルス感染拡大防止のための措置として、決議の省略の方法により行う	<ul style="list-style-type: none">令和元年度第1次専決補正の報告について令和元年度第2次専決補正の報告について令和元年度資金収支予算の流用について令和元年度事業報告について令和元年度資金収支決算について理事候補者の推薦について評議員候補者の推薦について令和2年度定時評議員会の招集について令和元年度日赤募金会計決算について
第2回	9月2日(水) 決議の省略の方法により行う	<ul style="list-style-type: none">新役員(理事)候補者の選任について
第3回	12月7日(月) 決議の省略の方法により行う	<ul style="list-style-type: none">令和2年度第3次補正予算(案)について
第4回	3月23日(火) 午前10時～	<ul style="list-style-type: none">令和2年度資金収支予算の流用について発展・強化計画の策定について定款の一部変更について就業規則、給与規程の一部変更及び改正について令和2年度第4次補正予算(案)について令和3年度事業計画(案)について令和3年度資金収支予算書(案)について令和2年度第4回評議員会の招集について令和3年度日赤募金会計予算(案)について

(2) 評議員会

回数	日時	提出議案
第1回 定時	6月15日(月) 決議の省略の方法により行う	<ul style="list-style-type: none">令和元年度第1次専決補正の報告について令和元年度第2次専決補正の報告について令和元年度事業報告について令和元年度資金収支決算について役員(理事2名)の選任について

第2回	9月9日(水) 決議の省略の方法により行う	・役員(理事)候補者の選任について
第3回	12月18日(金) 決議の省略の方法により行う	・令和2年度第3次補正予算(案)について
第4回	3月31日(水) 午前10時～	・定款の一部変更について ・令和2年度第4次補正予算(案)について ・令和3年度事業計画(案)について ・令和3年度資金収支予算(案)について

(3) 監査

回数	日 時	内 容
第1回	5月13日(水) 午前9時30分～	・令和元年度決算に係る監査

II 地域支援の重点事業の成果及び実績

1 地域住民の参加と協力による地域福祉活動の推進

ふれあい地区社協の活動に対し支援を行いながら、住民主体にて地域課題が解決できるよう地域福祉活動の推進に努めました。

また、見守り活動を実施している関係団体と地域の現状や見守りが必要な方の状況など情報の共有を図り、地域の現状を把握するため見守り会議を開催しました。

(1) ふれあい地区社会福祉協議会

ア 役員会・代表者会議

区 分	日 時	場 所
第1回役員会	4月30日(木) 午後1時30分～2時30分	ふれあいセンター
第2回役員会	8月7日(金) 午後1時30分～2時30分	
第3回役員会	1月12日(火) 午後2時～3時	
第4回役員会	3月11日(木) 午前10時～11時	
第1回代表者会 (腹栄中校区)	7月9日(木) 午前10時00分～11時	長洲町中央公民館
第1回代表者会 (長洲中校区)	7月9日(木) 午後1時30分～2時30分	

イ ふれあい地区社協校区别研修会(新型コロナウイルス感染症対策のため中止)

ウ ふれあい地区社協合同研修会(新型コロナウイルス感染症対策のため中止)

エ 見守り会議の開催(19地区 21回開催)

日 時	行政区	参加者数	場 所
5月28日(木)	上町	12人	町民研修センター
7月6日(月)	立野	11人	立野学習センター
7月8日(水)	磯町	8人	磯の館
7月20日(月)	永方	17人	永方公民館
7月21日(火)	駅通	7人	駅通区生涯学習センター
9月10日(木)	建浜	10人	建浜区公民館
9月11日(金)	下本	4人	有明先成荘

9月14日(月)	中町	4人	川口荘
9月24日(木)	東荒神	11人	あおぞら集会所
10月22日(木)	宝町	6人	長洲町中央公民館
10月24日(土)	折地	17人	折地公民館
11月8日(日)	宝町	9人	みんなの蔵
11月26日(木)	松原	4人	ふれあい松原
12月14日(月)	建浜	12人	建浜区公民館
12月15日(火)	清源寺	12人	清源寺区公民館
2月4日(木)	宮ノ町	3人	区長宅
2月6日(土)	上沖洲	23人	上沖洲公民館
2月9日(火)	腹赤	7人	腹赤公民館
2月14日(日)	出町	14人	出町集会所
2月26日(金)	新山	8人	新山区集会場
3月12日(金)	赤崎	7人	赤崎公民館
合 計		206人	

(2) ボランティアセンター事業の推進

ア ボランティア活動育成事業

(ア) ボランティア協力校指定事業 町内小学校4校 中学校2校

(イ) ボランティア団体活動支援金の助成 3団体

(ウ) クリーンウォークの実施(共催:長洲町手をつなぐ育成会)

・日 時 11月3日(火) 9時~10時30分

・実施場所 国道501号線沿い及び中道児童公園から町役場周辺

・参加人数 217人(長洲 139人 ひまわりの里 78人)

(エ) メークアップボランティア活動

(新型コロナウイルス感染症対策のため中止)

イ 総合学習

ボランティア協力校からの依頼に対し、福祉を身近に感じる体験学習を行うため、依頼内容に合わせた講師の紹介や、社協職員の指導による車いす操作体験などを行い、福祉教育の推進を図りました。

新型コロナウイルス感染症対策として、高齢者疑似体験は中止し、車いす体験のみを実施しました。

期 日	内 容	学校名	参加者数
7月28日(火)	車いす体験	長洲小学校	40人
9月9日(水)	車いす体験	腹赤小学校	35人
9月15日(火)	車いす体験	六栄小学校	21人
9月17日(木)	車いす体験	六栄小学校	21人
11月20日(金)	車いす体験	清里小学校	19人

(3) 児童・青少年福祉活動

ア 新小学一年生への援助

入学児童133人分の入学祝として(2B えんぴつ)を贈呈しました。

イ 子どもデイサービス事業(新型コロナウイルス感染症対策のため中止)

(4) 各団体への支援活動

期 日	内 容	支援団体	場 所
5月24日(日) ※新型コロナウイルス 感染対策のため中止	熊本県障がい者スポーツ 大会協力支援	身体障がい者 福祉協議会	熊本県民総合 運動公園
8月1日(土) ※新型コロナウイルス 感染対策のため中止	夏祭り出店協力及び職員 派遣等支援	ひまわりの里	腹赤小学校 グラウンド
10月7日(水)	熊本県障がい者グラウン ドゴルフ大会協力支援	身体障がい者 福祉協議会	熊本県民総合 運動公園
3月14日(日) ※新型コロナウイルス 感染対策のため中止	春祭り出店協力及び職員 派遣等支援	スローすてっぷ	スロー すてっぷ

2 福祉サービス相談窓口としての機能の充実

(1) 心配ごと相談所

毎月第3火曜日に弁護士による相談所を開設しました。(単位：件)

相談 内容	生計	住宅	医療	財産	児童 福祉	老人 福祉	苦情	その他	合計
件数	3	9	1	8	1	1	1	5	29

(2) 生活福祉資金貸付・小口貸付

低所得・障がい者・高齢者世帯等に、県社協の資金貸付事業の「生活福祉資金貸付事業」や本会の小口資金貸付事業「福祉金庫」で経済的に支えるとともに、生活の安定や自立支援に向け対応しました。

ア 生活福祉資金貸付事業 (単位：件)

種 別	相談 件数	申請 件数	決定 件数	対象外・ 相談のみ
福祉資金貸付	5	0	0	5
教育支援資金貸付	0	0	0	0
総合支援資金貸付	0	0	0	0
緊急小口資金貸付	1	1	1	0
不動産担保資金	1	0	0	1
緊急小口資金特例貸付	110	69		41
総合支援資金特例貸付	40	39		1
総合支援資金特例貸付(延長)	19	16		3
総合支援資金特例貸付(再貸付)	11	9		2
計	187	134	1	53

イ 福祉金庫貸付事業 (単位：件)

種 別	相談 件数	申請 件数	決定 件数	不承認 件数	取下げ 件数	対象外・ 他制度等
福祉金庫貸付	7	3	3	0	0	4

3 地域福祉権利擁護事業

判断能力が不十分で日常生活を営むのに支障がある方に対して、安心して暮らせる環境整備、生活支援等により生活上の安定及び負担の軽減に努めました。（単位：人）

実利用者数	年度当初利用者数	新規契約	契約解除	支援員数	対応回数（回） （支援員・職員対応）
13	13	2	2	5	1,020

※ 実利用者数内訳 認知症 10人 知的障害者 2人 その他 1人

4 安心よりそい生活支援事業

地域福祉権利擁護事業の補完的サービス、または対象外の方も利用できるサービスとして安心よりそい生活支援として実施しております。（単位：人）

実利用者数	年度当初利用者数	新規契約者	契約解除者	対応回数（回） （職員対応）
4	8	0	4	598

5 赤十字講習会

(1) 地域の講習会開催

熊本地震の経験、繰り返される風水害など防災・減災への意識の高まりから、いざという時に役立つ知識や技術を身につけることを目的に開催しました。

期 日	行政区	内 容	参加者数	場 所
6月14日(日)	古城	認知症の理解と予防・認知症の人への基本的な対応の仕方等	20人	古城区学習センター
2月28日(日)	新山	避難所生活での過ごし方やボランティアの心得等	30人	新山区集会場

6 受託事業

(1) 安心生活基盤構築事業

日常生活を送る上での困りごとの解消を図るため、地域住民相互の支え合い活動の一つとして有償ボランティア「ささえあい」事業を展開しました。

ア 協力会員交流研修会 8月4日(火) 参加者8人

イ 有償ボランティア利用実績報告 (単位：件)

利用内容	利用件数	利用内容	利用件数	合 計
掃除・片付け	41	買物	72	1,092
ゴミ出し	940	薬の受取	27	
洗濯	12			

※ 協力会員活動実人数 22人 利用会員利用実人数 30人

ウ 令和2年度新規登録者数 協力会員数 3人 利用会員数 8人

辞退 3人 辞退 9人

累 計 協力会員数 113人 利用会員数 61人

(2) 生活困窮者総合相談支援事業

生活保護に至る前から生活困窮者の相談に対応し、生活困窮者が抱える課題を把握するとともに、困窮状態から早期に脱却することを目的に包括的な支援に取り組

みました。

- ・前年度からの継続 22件(内 継続支援中7件 他機関へつなぐ3件 終結12件)
- ・新規相談件数 38件(内 継続支援中16件 他機関へつなぐ2件 終結20件)

(3) 緊急対応生活支援事業

緊急的かつ一時的に食材や日用品等の生活に必要なものが確保できなくなり、生命が脅かされる恐れとなった場合、現物を支給し他の制度につなぎ生活再建の支援を行ないました。

支援人数	支援内容	食材費	備蓄食材配布	水道光熱費	宿泊費
8人	支援件数(件)	5	11	3	1

7 子育て支援・児童健全育成事業の推進

(1) 子育て支援センター事業

子育て支援の拠点として、子育てに関する関係機関との調整を図り、相談や指導を行い、孤立しがちな子育て期の親子が安心して過ごせる場所の提供や、同世代の子を持つ親同士の情報交換や相談、交流ができるように「にこにこサロン」及び「1歳の誕生会」その他を開催しました。

また、子育て支援センターの行事や内容を周知するため、「にこにこ通信」の発行や、「愛情ねっと」「母子モ」の配信を行い、多くの町内の方に「子育て支援センター」を知ってもらえるように、行事内容を充実させ実施しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止の対策として、手指の消毒・検温の確認、制作や食事の際は1組で1台のテーブルを使用してもらい、遊具・玩具・床・ドアノブ等を使用後は次亜塩素酸で拭き取り消毒を行いました。

開館日数	利用者延人数	一日平均利用者
233日間	幼児 1,509人、 大人 1,361人	幼児6名 大人5人

※令和2年度 新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館

期間：4月1日(水)～4月8日(水) 4月14日(火)～5月31日(日)
7月31日(金)～8月23日(日)

ア 各種行事 (開催場所：子育て支援センター・町研修センター)

※ ふれあいセンター工事のため町民研修センターに移転

期間：令和2年10月26日(月)～令和3年2月28日(日)まで

期 日	行事内容及び参加者数
毎月 第1木曜日 (変更有)	◆にこにこサロン ※4月・5月・8月新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 6月：リトミック 7月：七夕 9月：保健師さんを囲んで 10月：手形・足形アート 11月：食育 12月：おはなし会・クリスマス会 1月：カレンダー制作 2月：豆まき 3月：子育て講演会(親子で楽しむおはなし会) 延べ利用者数： 大人 62人、 幼児 63人
4月25日(水) 10月21日(水)	◆はいはい・よちよち大会(年2回) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 大人 14人、 幼児 15人

<p>10月31日(水) 新型コロナウイルス 感染拡散防止の ため中止</p>	<p>◆人形劇鑑賞会(年1回) ※世代間交流事業(児童館と合同) 演題「エルマーの冒険」</p>	<p>人形芝居劇団 かすぺる</p>
<p>7月30日(金) 10月15日(木) 1月28日(木) 3月15日(月)</p>	<p>◆ベビーマッサージ(年4回) 大人 3人、 幼児 3人 大人 4人、 幼児 2人 大人 4人、 幼児 4人 大人 2人、 幼児 2人</p>	<p>講師： 藤本 喜美 氏</p>
<p>7月10日(金) 8月14日(金) 11月27日(金) 1月22日(金) 2月12日(金)</p>	<p>◆ボディケア(年4回) 大人 6人、 幼児 7人 ※新型コロナウイルス感染拡散防止のため中止 大人 5人、 幼児 5人 大人 6人、 幼児 6人 大人 6人、 幼児 6人</p>	<p>講師： 竹下 貴美 氏</p>
<p>6月29日(月) 12月7日(月)</p>	<p>◆バランスボール教室(年2回) 大人 6人、 幼児 6人 大人 4人、 幼児 4人</p>	<p>講師： 山下 いずみ 氏</p>
<p>毎月(年12回)</p>	<p>◆1歳の誕生会 ※4月・5月・8月は新型コロナウイルス感染拡散防止のため中止 ※休館中の対象者には後日開館中に来館してもらい記念写真・手形 スタンプを実施する。()はその人数 参加者数：大人 53人(6人含)、幼児 55人(6人含) うち対象者：町内の1歳を迎える幼児とその保護者 95組中 参加組数 23組(6組含)</p>	
<p>毎週火曜日</p>	<p>◆ごきげんタイム ※4月・5月・8月は新型コロナウイルス感染拡散防止のため中止 内容：今月のうた・手遊び・ふれあい遊びうた・折り紙・シール 遊び・お話会・制作等 大人 189人、 幼児 197人</p>	
<p>年間 全16回</p>	<p>◆イザベラ先生の英語教室 ※4月・5月・8月は新型コロナウイルス感染拡散防止のため中止 ※11月～2月、ふれあいセンター工事期間中につき中止 参加者 大人 15人、 幼児 17人</p>	
<p>7月13日(月) ～17日(金) 3月15日(月) ～19日(金)</p>	<p>◆おゆずり会 ・昨年度3月分を7月に開催 ・密にならないように、場所を2階会議室で行う。 7月 参加者 大人 39人 幼児 31人 3月 参加者 大人 36人 幼児 31人</p>	
<p>随 時</p>	<p>◆地域支援活動 乳幼児健診支援「2か月広場」に出向いて、子育て支援セン ターの周知活動を行う。</p>	

(2) ファミリーサポート事業

幼児・児童を子育て中の保護者が「安心して楽しく子育てできるよう」に援助を受ける方と、援助を行う方との会員登録制度による相互援助活動により、家庭的保

育の支援を行う体制をとりました。

(3) 児童館事業

児童に健全な遊びの場を与え、いつでも気軽に利用できる環境づくりに努め、健康の増進や情操を豊かにするような事業を計画をして、児童館の周知や各機関との連携を図りながら少年期の子育て支援を行いました。

新型コロナウイルス感染拡大防止の対策として、手指の消毒・検温・各テーブルに飛沫防止用のアクリル板を設置をし、利用者の使用後は次亜塩素酸での拭き取り消毒を行いました。

※ 令和2年度 新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館

期間 4月 1日(水)～4月 8日(水) 4月14日(火)～5月31日(日)
7月31日(金)～8月23日(日)

※ふれあいセンター工事のための休館 期間 10月24日(土)～2月28日(日)

期 日	行事内容及び参加者数
9月19日(土) 10月17日(土)	<p>◆児童館クラブ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため会員募集はおこなわず、単発で年に2回募集して実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パステルアート教室 講 師 菅 芳佳 氏 参加者 7名 ・パック料理教室 参加者 8名
1月6日(水)	<p>◆新春書初め大会 参加者：児童 24人 講師：宮本 貴文氏</p>
夏休み期間中 8月18日(火) 19日(水)	<p>◆出前講座(長洲町内小学校学童) ・夏休み期間中 六栄・腹赤・長洲・清里小学校の学童へ出向いて製作の指導を行う 参加者：学童児童 76名 内 容：輪っか玉入れゲーム</p>
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	◆児童館まつり 場 所：中央児童館
	◆カルチャー教室 ・料理教室 ・アクセサリーづくり
	◆ビデオシアター(ビデオ鑑賞会)
	◆レッツプレイ ・カヌー体験 (B&G 総合スポーツセンター) ・トランポリン教室 (B&G 総合スポーツセンター) ・レクレーション(豊野少年自然の家より) ・ボルタリング (大牟田ロックパーティー)
	◆人形劇鑑賞会(世代間交流事業) 人形芝居劇団かすぺる
	◆コンサート (世代間交流事業)

III 地域包括支援課

1 包括的支援事業(地域包括支援センター)

(1) 介護予防ケアマネジメント業務

ア 地域住民の健康寿命の延命に向けて健康状態や健康に対する意識づけを目的とし、フレイル予防について周知や講話を行いました。

(※フレイルとは、加齢により心身が老い衰えた状態のこと) (単位：人)

日付	行政区	人数	日付	行政区	人数
6月3日	松原	10	6月18日	向野	15
6月2・5日	建浜	18	6月18日	下東	7
6月4日	新山	10	6月19日	大明神	10
6月5日	上町	8	6月23日	駅通	7
6月8日	腹赤	8	6月23日	立野	11
6月10日	腹赤新町	9	6月25日	鷺巣	10
6月12日	磯町	28	6月30日	折地	21
6月12日	中町	9	7月2日	上沖洲	11
6月15日	西新町	12	7月10日	出町	4
6月15日	宮の町	6	7月30日	下本町	11
6月16日	赤崎	16	9月1日	宮崎	8
6月16日	葛輪	7	9月23日	永方	15
6月17日	清源寺	10	9月24日	東荒神	8

イ 国保医療係との連携により、後期高齢者医療保険切替えの138人の方々に対して窓口で基本チェックリストの聞き取りを行い、げんきの館や元気あっぷ教室等予防事業の紹介を行いました。

ウ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業との連携では、要介護認定を受けてないが、基本チェックリストによって事業対象者となった方16人に対して自宅訪問による介護予防啓発を行い、通所A事業や介護保険の申請など適切な支援へのつなぎを行いました。

(2) 総合相談支援業務

相談方法	相談件数 (件)	相談内容	相談件数 (件)
来所	892	介護に関すること	725
電話	1,618	介護保険に関すること	873
訪問	721	地域支援事業に関すること	320
情報提供	221	健康管理や医療保険に関すること	940
メール	1	福祉サービスに関すること	128
その他	83	日常生活に関すること	368
合計	3,536	高齢者虐待に関すること	65
		権利擁護・成年後見に関すること	104
		消費者被害に関すること	7
		長洲町見守りネットワークに関すること	6
		合計	3,536

相談者	相談件数 (件)	相談者	相談件数 (件)
本人	1,241	区長	47
家族	783	近隣	81
関係機関(行政・社協)	349	医療機関	407
ケアマネ・介護サービス事業	410	その他	76
民生委員	142	合計	3,536

(3) 権利擁護業務

ア 相談対応

(単位：件)

相談内容	高齢虐待	権利擁護・成年後見	消費者被害
相談件数	65	104	7

イ 高齢者虐待に関する対応・会議

高齢者虐待に関しては、本人及び関係者への聞き取りによる事実確認及び対応を行った事案が17件、緊急性を判断する会議を実施して対応方針を決め、対応した事案が1件ありました。

ウ 権利擁護・成年後見に関する取り組みについて

権利擁護事業の充実と介護支援専門員への支援を目的として、以下の取り組みを実施しました。

権利擁護事業等ニーズ調査

- ・調査回答手法 メールアンケート調査回答手法によるメール配信配布
- ・対象者 町内居宅介護支援事業所・小規模多機能型居宅介護事業所及び地域包括支援センター所属の介護支援専門員 計29人
- ・回答率 100% (配布人数 29人、回収人数 29人)

権利擁護事業に係る研修会

- ・日時：10月30日(金) 午後6時30分から午後8時00分
- ・テーマ：「成年後見制度の理解と活用を目指して」
- ・講師：田中司法書士事務所 田中 智恵美 氏
- ・参加者：居宅介護支援事業所の介護支援専門員、介護サービス事業者管理者及び相談業務に係る職員、役場・社会福祉協議会職員・地域包括支援センター職員 計32人

(4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

高齢者が住み慣れた地域で暮し続けることができるよう、以下の支援を行ないました。

ア ケアマネジャーの技術向上のため日常的個別支援

イ 支援困難事例等への指導・助言など

ウ 介護支援専門員連絡会の開催：3月22日(月) 午前11時00分～正午

- 内容：・介護予防支援・介護予防マネジメント費の変更について(包括)
- ・避難場所・福祉避難所についての情報提供(総務課、福祉係)
 - ・徘徊者への対応(GPS貸与等について)(介護保険係)

エ 支援回数 延べ170回

(単位：回)

支援内容	延べ回数	支援内容	延べ回数
ケアマネジメント支援	81	包括内連携	53
社会資源の紹介	21	主治医連携	1
対人援助技術	3	制度説明・確認	25
研修・学習	0	個人の悩み事相談	2
同行訪問	24	その他	52

(5) 認知症総合施策事業報告

ア 認知症サポーター養成講座開催

認知症になっても安心して暮らせるまちを目指すため、認知症を正しく理解して、認知症の人や家族を温かく見守る応援者になってもらえるよう認知症サポーターの養成を実施しました。

また、認知症サポーター養成講座に伴うキャラバンメイト意見交換会を6月に開催し、新型コロナウイルス感染拡大予防の対策などを共有しました。新型コロナウイルスによる県の緊急事態宣言の影響を受け、長洲中学校、長洲小学校は中止と

なりました。

(単位：人)

期 日	対象者	参加人数
6月11日(木)	元気あっぷリーダー7期生	5
6月30日(火)	折地区住民	21
7月5日(土)	花谷建設株式会社	21
7月16日(木)	にじいろカフェ(認知症カフェ)	33
7月28日(火)	JAたまな長洲総合支所	4
10月7日(水)	元気あっぷリーダー8期生	5
10月13日(火)	民生委員	28
12月23日(水)	清里小学校	16
合 計		133

イ 認知症アクティブチーム(チームオレンジ)の立ち上げ

認知症サポーター養成講座修了者で、更なる活動を希望された方に「認知症サポーターステップアップ講座」を実施しました。講座の後は、認知症カフェ支援等のサポーター活動につなぐことができました。

- ・講座開催日：10月31日(土)
- ・講 師：小川 知成 氏(認知症介護指導者)
- ・受講者：22人

ウ 脳力あっぷリーダー(認知症予防リーダー)養成講座

チームオレンジで認知症予防活動に意欲的な方へ実施し、脳機能と認知症の関係や、各予防プログラムを実践として学び、その後の脳力あっぷ教室へのボランティア人材育成を行いました。

- ・開催日 11月28日(土)、12月5日(土)、12月12日(土)、
12月19日(土)、12月26日(土) 計5回
- ・講 師 北尾 昌平 氏(有明地域リハビリテーション広域支援センター)
- ・参加者 13人

エ 脳力あっぷ教室

もの忘れ予防の教室として開催し、住民へ脳力あっぷリーダーがサポートを行い、社会資源を活用した認知症予防プログラムに取り組みました。

- ・開催日 令和3年1月28日(木)から3月15日(月) 計8回
- ・講 師 北尾 昌平 氏(有明地域リハビリテーション広域支援センター)
- ・受講者 11人

オ 認知症カフェの開催の支援

町内4事業所(月華苑、心の花、せいわながすの里、げんきの館)で開催される認知症カフェについて、内容の検討や当日の準備、運営等の支援をしています。また、認知症カフェの内容の充実を図るために情報交換会を10月に行いました。

カ 認知症の人に対する声かけ・搜索模擬訓練の開催

認知症の人への接し方や対応を学び、行方不明者発生時を想定した搜索・通報の訓練を実施しました。これにより認知症の人やその家族を地域で見守り、支援の輪を広げることができました。

- ・開催日 11月21日(土)
- ・内 容 認知症の人に対する声かけ・搜索模擬訓練 in 古城
- ・参加者 15人
- ・開催日 1月17日(日)

- ・内 容 認知症の人に対する声かけ・搜索模擬訓練 in 赤崎
- ・参加者 29 人

キ 認知症初期集中支援チーム

認知症の容態に応じた適時適切な医療・介護等の提供の早期診断・早期対応を目的とした支援をしました。

また、チーム員会議として、月1回、町と包括、チーム員で情報共有や支援方針の確認などを行いました。会議の内容や支援に関する相談などに関しては、認知症サポート医（淡河・黒田医院 黒田医師）とも連携をしました。

- ・新規相談数：4 件
- ・対応回数：25 回

ク 認知症家族の会「つどい」への参加

認知症の人とその家族の会主催の「つどい」長洲エリア開催時（6 月・10 月）に、介護者家族や支援者との情報共有や、介護に関する情報提供などを行いました。2 月は新型コロナウイルス感染拡大予防対策として中止となりました。

ケ 「認知症安心ガイド」の発行

「認知症安心ガイド」は、認知症の状態に応じて、どんなサービスや医療につながればよいかを、大まかな目安で示しています。

民生委員さんや区長さん、商店、医療機関、金融機関など関係機関に配布し、活用をいただいています。

(6) 地域ケア会議の開催

ア 自立支援型地域ケア会議の開催（定例開催）

毎回、町内介護支援専門員から提供された事例の課題に対して、専門職からの助言を受け、利用者の自立支援につながるケアプランやサービス事業所のプログラム提供を目指しました。

- ・開催日：毎月第 3（水）
- ・開催数：年間 11 回開催（4 月は新型コロナウイルス感染予防のため中止）
- ・事例数：22 事例

イ 個別課題の地域ケア会議

困難事例等、個別の課題に対し、関係者や専門職、行政と共に課題解決に向けた会議を開催し、情報共有やネットワーク化を目指しました。

- ・開催日：困難事例発生時に随時開催
- ・開催数：2 回
- ・事例数：2 事例

ウ 自立支援型地域ケア会議に関する研修会開催

地域ケア会議の助言者である専門職より、自立支援型ケアプラン作成につながるアセスメントの視点を学び、ケアマネジメント能力が向上することを目的として、開催しました。

- (ア) 対象
- ・居宅介護支援事業所及び小規模多機能居宅の管理者と主任介護支援専門員
 - ・介護サービス事業所管理者

(イ) 内容

①管理栄養士・歯科衛生士に学ぶアセスメントの視点

- ・開催日：令和 2 年 7 月 13 日（月）午後 1 時 30 分から 3 時 30 分
令和 2 年 7 月 20 日（月）午後 1 時 30 分から 2 時 30 分
- ・講 師：町保健センター 管理栄養士：柿沼 尚子 氏
歯科衛生士：廣岡 奈菜 氏
- ・参加者：ケアマネジャー：12 人 事業所：9 人

②理学療法士に学ぶアセスメントの視点

- ・開催日：令和2年8月18日（火）午後1時30分から2時30分
令和2年8月28日（金）午後1時30分から2時30分
- ・講師：有明地域リハビリテーション広域支援センター
理学療法士 北尾 昌平 氏
- ・参加者：ケアマネジャー 12人 事業所 8人

③薬剤師に学ぶアセスメントの視点

- ・開催日：令和2年9月17日（木）午後1時30分から2時30分
令和2年9月24日（木）午後1時30分から2時30分
- ・講師：ヤマムラ薬局 管理薬剤師 山村 正人 氏
- ・参加者：ケアマネジャー：10人 事業所：7人

(7) 長洲町介護サービス事業者連絡協議会の事務局

ア 研修会等

令和2年7月9日(木)	令和2年度介護サービス事業者連絡協議会総会(書面決議)
令和2年9月8日(火)	民生委員・児童委員定例会にて認知症サポーター養成講座

イ 役員会 年間3回開催し、事業の打ち合わせや情報共有を図りました。

2 指定介護予防事業

介護保険認定の要支援1・2を受けた高齢者に対して、循環型の介護予防に取り組むことができるよう自立支援型の介護予防サービス計画書の作成を行いました。

ア ケアプラン作成件数 (単位：件)

年度	包括(単独)他	委託
令和元年	1,014	236
令和2年	1,011	221
増減	▲3	▲15

※委託先の居宅介護支援事業所：
町内3事業所・町外2事業所
計 5事業所

3 生活支援体制整備事業報告

(1) 介護予防リーダー養成事業

ア 元気あっぷリーダー養成講座

講師：有明圏域リハビリテーション広域支援センター

理学療法士(3人) 北尾 昌平 氏・寺本 さおり 氏・宮本 彰吾 氏

(ア) 7期生養成講座 参加人数 5人

養成講座：5月21日(木)から6月18日(木)全8回

準備講座：6月22日(月)から7月3日(金)までの希望日全2回

(イ) 8期生養成講座 参加人数 5人

養成講座：8月26日(水)から10月14日(水)全8回

準備講座：10月19日(月)から10月30日(金)までの希望日全2回

イ 元気あっぷリーダーのフォローアップについて

(ア) 元気あっぷリーダーフォローアップ研修

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、同じ内容での研修を5月は1日3回、6月は1日2回、それぞれ2日間かけての開催としました。

(単位：人)

区分	期 日	内 容	参加者数
第1回	5月25日(月) 5月26日(火)	新型コロナ感染予防対策(衛生管理のやり方について)	59

第2回	6月25日(木) 6月26日(金)	体力測定のやり方について 教室実践に向けた意見交換	52
第3回	9月4日(金) 9月7日(月)	新型コロナウイルス感染拡大対策について 体力測定結果説明	52

ウ 元気あっぷ体操教室開催会場、回数及び参加者延べ人数・リーダー活動状況

(ア) 元気あっぷ体操教室開催会場：合計 21 会場

校 区	会 場 人
長 洲	あおぞら荘(東荒神)、磯の館、新山集会所、長洲町中央公民館、町民研修センター、出町集会所、はっとり荘(下東)、ふれあい松原
清 里	駅通り区生涯学習センター、建浜区公民館
腹 赤	上沖洲公民館、清源寺区公民館、腹赤公民館、腹赤新町学習センター
六 栄	赤崎公民館、古城学習センター、塩屋公民館、高田区公民館、永方公民館、宮崎区ふれあい公民館、鷺巣公民館

※新規立ち上げ会場：あおぞら荘(東荒神)、はっとり荘(下東)、清源寺区公民館、高田区公民館

(イ) 開催回数及び参加者延べ人数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開催回数	5	0	50	54	27	48	67	59	56	38	59	73
参加人数	30	0	451	449	224	388	506	465	456	370	456	597
年間合計	開催回数		536回		参加人数		4,392人					

元気あっぷリーダー登録者数 78人 元気あっぷリーダー活動者数 68人

(2) 協議体の開催

地域ケア会議等において抽出された地域課題を解決する場として、町第一層協議体等を開催し、地域課題の解決に向けて取り組みました。

ア 町第一層協議体の開催(定例開催)

- ・参加者：行政、社協、地域包括支援センター、生活支援コーディネーター
- ・開催日：毎月第3(水)
- ・開催数：年間12回開催

イ 個別の協議体

(ア) 商店協議体

長洲町内の商店に「長洲町生活支援体制整備事業に関するアンケート」を行い、地域課題の抽出を図りました。また、アンケート協力店に、生活支援体制整備事業の説明会を行い、商店協議体の開催につなげました。

協議において、認知症高齢者への対応や相談窓口紹介の要望が上がり、地域包括支援センターが直接出向き「認知症安心ガイド」の説明と職員の顔つなぎ訪問が実施できました。

区分	期 日	内 容	参加者数
第1回	6月23日(火)	生活支援体制整備事業の説明	11人
第2回	7月20日(月)	取り組み内容の検討	8人

(イ) ながす弁当協議体

高齢者の食生活の改善を目的として「ながす弁当」についての協議体を立上げました。長洲町旅館・飲食店組合(以下、弁当組合)や、町保健センター管理栄養士などとの協働により、高齢者向けの弁当をげんきの館の昼食として提供できる体制づくりを行いました。

区分	期 日	内 容	参加者数
第1回	10月15日 (木)	①「ながす弁当」による高齢者健康増進について ②町保健センター管理栄養士からの提案 ③高齢者向け「ながす弁当」について検討	9人
第2回	12月10日 (木)	①町保健センター管理栄養士からの意見・提案 ②「ながす弁当」げんきの館利用者アンケート結果と改善点などの検討 ② 弁当の配達についての確認と協議・検討	7人

ウ 生活不活発病予防のための周知計画

コロナ禍の中でできる食生活の見直しや自宅でできる元気あっぷ体操のやり方を「ながす広報」10月号で周知し、生活不活発病の予防を図りました。

また、広報掲載した内容をチラシにまとめ、町老人クラブ連合会と町民生委員児童委員協議会に配布し、周知を依頼しました。

(3) 一般高齢者予防事業

ア 一般高齢者への介護予防教室の開催

開催延べ数 169 教室 参加者延べ人数 1,133 人

イ 認知症カフェ「にじいろカフェ」の開催（奇数月第3木曜日）（単位：人）

期 日	内 容	参加者数	ボランティア人数
5月21日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止		
7月16日	認知症サポーター養成講座 講師：地域包括支援センター 井上	24	9
9月17日	ミニ健康ダンス、ミニ紙遊び	16	6
11月19日	ミニミニ文化祭、ものづくり	10	6
1月21日	講話「お口から考える健康」 講師：町保健予防係歯科衛生士 廣岡 奈菜 氏	15	5
3月18日	脳力あっぷプログラム体験 講師：地域包括支援センター 井上	18	4

4 介護予防ケアマネジメント事業

(単位：件)

介護予防・日常生活支援総合事業におけるサービス利用者へ目標志向型のケアプラン作成を行いました。

年度	包括	委託
令和元年	938	56
令和2年	1,072	60
増減	134	4

5 通所型サービスA事業

介護予防・日常生活支援総合事業における通所型サービスA事業を実施しました。

(1) 具体的な提供プログラム

ア 運動機能向上プログラムの導入

(ア) 有明地域リハビリテーション広域支援センターと連携し、「くまもとホクホク体操」「くまもとよかよか体操」を実施しました。また、運動機能評価を定期的に行い、分析を行い、今後の運動指導の検討、実施につなぎました。

(イ) 利用者を地域活動につなげられるよう、自宅でも継続できる健康体操の支援に努めました。

イ 健康教室

町保健センターと連携し、利用者の健康長寿に向け、口腔ケアと栄養改善の講話を開催しました。

ウ 認知症予防プログラム実施

認知症予防活動として、脳トレプリントやウォーキング、イージーキューブ等を実施し、定期的に認知機能の評価を実施しました。

エ 個別プログラムの実施

(ア) 一般高齢者事業（介護予防教室）への参加

(イ) 利用者の趣味・特技を活かせる場：菜園での野菜・花の育成

(ウ) リハビリ職の支援による、個別リハビリの実施

オ セルフケア確認による健康意識の向上プログラムの実施

月間カレンダー（げんきカレンダー）での健康生活の習慣化を支援しました。

カ 地域との交流活動の実施

(ア) 長洲こどもの海保育園園児との交流：新型コロナウイルス感染予防のため中止。

(イ) 小物づくりなどの趣味活動：趣味を通して利用者間の交流ができました。

(ウ) 季節行事

- ・落ち葉で焼いも会：新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止。

- ・敬老会：利用者の表彰と紅白饅頭を贈呈しました。

キ プラスあっぷ教室の実施

フレイル状態にある高齢者に対し、早期に専門職が関わりながら予防プログラムを提供できる教室を10月より開始しました。

対象：65歳以上の事業対象者又は要支援1・2認定者

期間：毎週（火）午後1時30分から3時30分で6か月間

定員：15名程度

専門職：理学療法士、管理栄養士、歯科衛生士、看護師

内容：・開始時と修了前の評価：運動器測定、栄養評価（栄養バランス、体組成計）、口腔評価（嚥下、舌の動き）

- ・集団体操、筋力アップ、バランスアップ、栄養指導、口腔体操

- ・セルフケアの促し：健康チェックや活動の習慣化を支援

- ・修了後の支援：地域活動や一般介護予防教室への案内とつなぎ

(2) 年間利用状況

(単位：人)

区分	開所 日数	実 利 用 者	(内 訳)		延利用者		合計	日平均
			要支援 1・2 認定者	基本チェッ クリ 該当者	通所A型 利用者	プラスあっぷ 教室参加者		
4月	22日	74	20	54	286		286	13.0
5月	21日	74	19	55	292		292	13.9
6月	22日	72	19	53	281		281	12.8
7月	23日	76	20	56	305		305	13.3
8月	21日	68	17	51	279		279	13.3
9月	21日	71	16	55	276		276	13.1
10月	22日	77	17	60	307	23	330	15.0

11月	21日	86	16	70	272	56	328	15.6
12月	20日	85	14	71	255	53	308	15.4
1月	20日	82	16	66	229	44	273	13.6
2月	20日	85	15	70	257	53	310	15.5
3月	23日	82	15	67	285	64	349	15.1
年間	256日	874			3,324	293	3,617	14.1

- ・年間登録者人数：114人
 - ・年間新規契約者：41人(通所A21人 プラスあっぷ教室20人)
 - ・利用者の変動：修了5人(通所A1人 プラスあっぷ教室4人) 介護認定13人
入院14人 自宅療養26人 死亡2人 その他3人
- ※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のためげんきの館休館
- ・期間 4月13日から5月14日まで
 - ・通所サービスの利用者に対しては、職員が一人ひとりの健康状態や生活状況の確認・体操指導に訪問し、継続的に生活の支援をしました。